

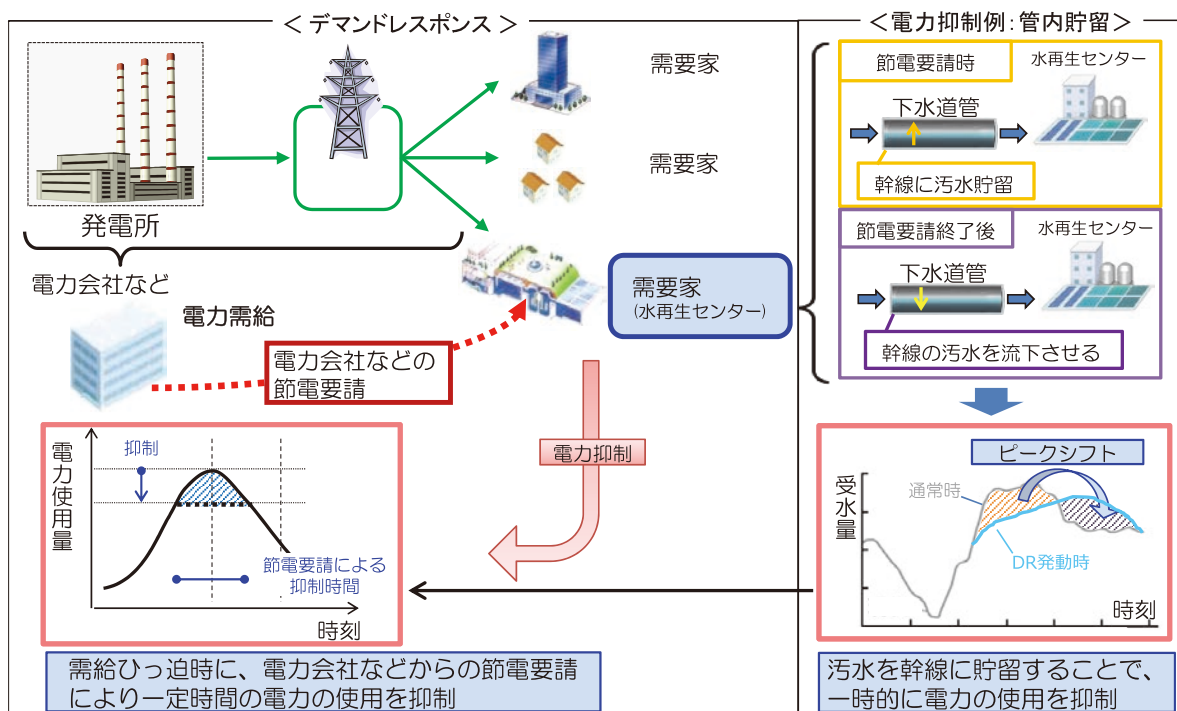
レジリエント部門

下水道事業におけるデマンドレスポンスの取組

東京都

デマンドレスポンス（DR）とは・・・
需要家側で電力の使用を抑制することで、需給のバランスを確保すること

東京都下水道局のデマンドレスポンスのイメージ



PRポイント!

当局では、平成26年度からDR実証事業を行い電力抑制方法などの検証を行い準備してきました。
 水再生センターでは省エネを進めており電力使用を常に抑制しています。このような状況の中、水再生センターに流入する汚水を下水道管内に貯留し揚水ポンプを一時的に停止するなどの工夫をして、電力使用を一時的に抑制（ピークシフト）する運転をDRの取組として初めて実施しました。

取組の効果!

平成30年1月から2月にかけて、大雪と寒波による影響や発電所のトラブルにより、東京電力管内の電気使用率が上昇し、11回ものDR発動がありました。要請を受けた8か所の水再生センターでは電気使用を抑制（3時間/回）し、首都圏の電力安定供給、大規模停電の未然防止に貢献しました。
 また、電気料金の割引も受けることができました。

Key Person



施設管理部 保安管理
 担当課長 漆原 隆浩

DRの取組への道すじは、電力業界の動向や情報を綿密に収集し、新しい取組を計画することから始まりました。その計画を多くの職員が携わり、長い年月をかけ準備してきた結果、今回大きな成果が実ったことに感慨無量です。

冬のDR発動は連日2回発動され、想定外の厳しい対応でした。平成30年度は、この実績を踏まえさらに対象施設を拡大して取組を進めています。今後もこのような社会貢献とコスト削減を両立した取組を検討し、実施していきたいと思っております。